

はじめに

鹿児島県は、南北約600キロメートルにも及ぶ広大な県土に、多くの島々や長い海岸線を有し、日本で初めて国立公園に指定された霧島や世界自然遺産の屋久島、世界的にも貴重な動植物を有する奄美群島、毎年1万羽以上が渡来する特別天然記念物「ツル」など、特色ある自然に恵まれており、ふるさと鹿児島のかげがえのないすばらしい環境を守り、育て、将来の世代に継承していくことは、現代に生きる私たちの使命であります。

このため、県においては、「県環境基本計画」等を踏まえ、地球を守る脱温暖化への貢献や地球にやさしい循環型社会の形成、自然あふれる癒しのかごしまづくりを目指し、環境の保全及び形成に向けて各般の施策を総合的かつ計画的に推進しています。

具体的には、地球を守る脱温暖化への貢献については、県民、事業者、行政が一体となった「地球環境を守るかごしま県民運動推進大会」を開催し、地球温暖化に対する意識の普及・啓発を図るとともに、事業者などの自発的な温室効果ガスの排出削減を促進する「かごしまエコファンド」や「エコ通勤」の取組などを進めています。

また、地球にやさしい循環型社会の形成については、県民自らがごみの排出者であることを認識し、マイバッグの持参、食品の食べきり・使いきりなどライフスタイルの一層の見直しの促進やリサイクル製品の使用などによる廃棄物の排出抑制、減量化などの推進を図るとともに、公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場「エコパークかごしま」の安心・安全を第一とした施設運営を図ってまいります。

さらに、自然あふれる癒しのかごしまづくりについては、昨年3月に制定した「指定外来動植物による鹿児島の生態系に係る被害の防止に関する条例」に基づき、生物多様性を保全する取組を進めるとともに、奄美の世界自然遺産登録に向けて、国、沖縄県、地元市町村、関係団体等とも連携を図りながら、奄美群島の貴重な動植物が生息する自然環境の保全に努めてまいります。

このような取組を中心に、「県民の皆様と一緒に鹿児島の今と未来をつくる」ということを基本として、「誠実に」、「着実に」、環境の保全及び形成に向けた施策の推進を図ってまいります。

この白書は、令和元年度における本県の環境の現状と施策の内容や成果を取りまとめたものであり、この白書が、県民の皆様の環境に対する関心と理解を深め、環境保全に向けた取組の参考となれば幸いです。

令和3年1月

鹿児島県知事 **塩田 康一**